

# 副本

平成31年(モ)第10004号 文書提出命令申立事件(基本事件 平成28年  
(ワ)第2407号 自衛隊南スーダンPKO派遣差止等請求事件)

申立人(基本事件原告) 平和子


相手方(基本事件被告) 国


## 文書提出命令申立てに対する意見書(2)


令和元年9月6日


札幌地方裁判所民事第1部合議係 御中

相手方(基本事件被告)指定代理人

五味 亮 

吉澤 淳 


居城 美佐子 

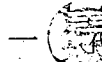
竹内 優介 

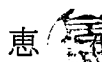
伊達 司 




















菅野 綾 

輪倉 真也 

水谷 俊彦 

石田 潤一 

堀内 理恵 

成	田	洋	基	
原		裕	喜	
廣	瀨	雅	哉	
町	田	一	仁	
濱	本	正	美	
杉	崎	健	二	
佐	女 木	眞 秀	路	
平	尾	和	久	
沖	田	紀 美	子	
板	垣	考	宣	
山	本	裕	一	
瀨	戸	隆	宏	
中	村	明	弘	
佐	女 木	香 保	里	
蓮	見	眞	澄	
田	口		武	
瀨	戸	孝	幸	
池	田	隼	人	
菅	原	大	義	

河	野		太	攝
伊	藤	慎	吾	攝
田	中		潤	攝
田	邊	良	豐	攝
東	山		朗	攝
藤	田	敏	輝	攝
金	澤	啓	一	攝
堀	江	雅	司	攝
大	隈		護	攝
松	下	正	宏	攝
山	根	英	和	攝
嘉	茂	裕	子	攝
円	山	晶	子	攝
新		喜	照	攝
小	野	弥	仁	攝
井	ノ口		輝	攝
保	枝	勇	治	攝

被告は、本書面において、原告の「被告の平成31年3月27日付『文書提出命令申立書に対する意見書』に対する求釈明及び意見書」（以下「原告求釈明及び意見書」という。）における求釈明に対し、以下のとおり意見を述べる。

なお、略語等については、本書面において新たに定めるもののほか、従前の例による。

## 1 原告の求釈明

原告は、本件対象文書は、民訴法220条4号ロに該当するため提出義務がないとする被告の平成31年3月27日付け「文書提出命令申立てに対する意見書」（以下「被告意見書」という。）に対し、民訴法220条4号ロは、文書提出命令の義務を免れる文書であることの主張立証を義務者に求めていることから、甲A第80号証等の101点全てについて、各文書ごとに、非開示部分を特定し、それぞれに理由を付さなければ、当該文書の提出義務の有無を判断することはできないと主張し、本件対象文書の非開示部分の全てについて提出義務が存在しない具体的な理由を明らかにするよう求めている（原告求釈明及び意見書4ページ）。

## 2 被告の意見

### (1) 甲A第80号証等の非開示部分に記載されている内容の分類

甲A第80号証等の非開示部分に記載されている内容の概要については、被告意見書第2の2(1)(6ページ)で述べたとおりであるが、その非開示部分の記載内容は、①南スーダンの情勢に関する事項、②外国部隊の配置に関する事項、及び③部隊長等のスケジュールを含む南スーダン派遣施設隊等の活動内容・活動成果、事後の活動予定、装備品や人員などの部隊の状況に関する事項（以下、③の事項を「南スーダン派遣施設隊等の活動内容等に関する事項」ということがある。）に分類することができる。

### (2) 甲A第80号証等の非開示部分の内容

甲A第80号証等は、いずれも別表「構成」欄記載の項目によって成立している文書である。

そして、甲A第80号証等の非開示部分には、それぞれ別表「構成」欄記載の各項目に応じ、「南スーダンの情勢に関する事項」、「外国部隊の配置に関する事項」又は「南スーダン派遣施設隊等の活動内容等に関する事項」欄に「○」印のある事項のいずれかが記載されている。このことは、別表「構成」欄記載の各項目の表題や、甲A第80号証等の開示部分の記載から合理的に推知することが可能であると思料する（これ以上に甲A第80号証等の非開示部分の記載内容について具体的に言及することは、甲A第80号証等の各非開示部分を開示することに等しく、これを行うことはできない。被告としては、このような主張によって、文書の記載内容からみて文書の提出により公共の利益を害し、又は公務の遂行に著しい支障を生ずるおそれが存在することについて、具体的に明らかにできていると考える。）。

そして、これらの記載内容がいずれも民訴法220条4号ロに該当するため、被告に甲A第80号証等の提出義務がないことは、被告意見書第2の2(2)(6ないし8ページ)で述べたとおりである。

以 上

民訴法220条4号ロ 該当理由 構成	南スーダンの 情勢に関する 事項	外国部隊の配 置に関する事項	南スーダン派 遣施設隊等の活 動内容等に関す る事項
1 本文 (1) 情勢	○		
(2) 本日の活動成果			○
(3) 明日の活動予定			○
2 別紙類 (細部活動状況)			
(1) 本日の成果			
ア 活動概要	○	○	○
イ 活動成果	○		○
(2) 明日の活動			
ア 活動に及ぼす影響			
(ア) 情勢	○		○
(イ) 基盤上 (兵站・衛生・ 人事) ・ 主要装備品等現況 ・ 燃料・糧食等現況 ・ 第10種補給品(水) の推移 (1週間実績) ・ 患者受診状況 ・ 人員現況			○ ○ ○ ○ ○
(ウ) 総括 (評価)	○		○
イ 活動計画 (活動命令)			
(ア) 構想 (施設活動等実施 に関する行動命令)	○		○
(イ) 各部隊の任務			○
(ウ) 視察・来隊予定			○
(エ) 隊長・副隊長・CSM の行動予定			○
3 じ後の予定			○
4 情報共有事項			○
5 参考資料			

(1) 気象			○
(2) 政府樹立までの主要結節 (暫定政府樹立までの主要結節)			○
(3) 予想シナリオ (状況推移) と日本隊に及ぼす影響	○		
(4) 部隊配置状況 ※ 第1623号から追加			○
(5) タスク現況			○
(6) 警備態勢			○
(7) 活動写真等			○